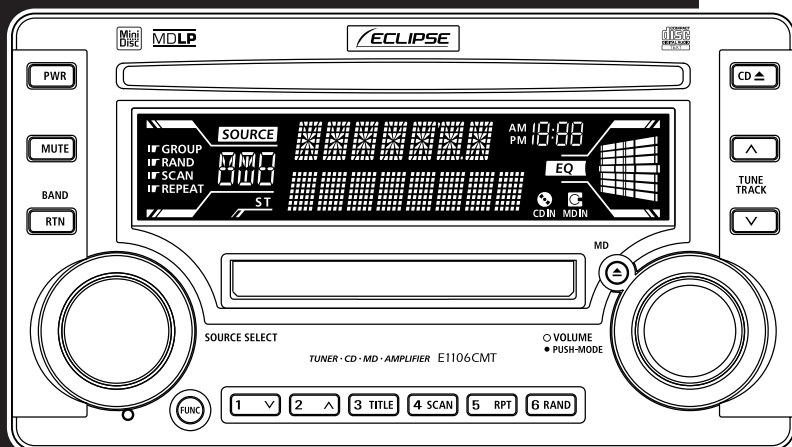




## 取扱説明書



# E1106CMT

CD/MDメインユニット

お買い上げいただきありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。  
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう  
大切に保管してください。

# 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



## 警告

- **本機は DC12V ⊖ アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない。**  
火災の原因となります。
- **事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。**  
万一、お子様が飲みこんだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- **運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。**  
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ディスク挿入口に異物を入れない。**  
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**  
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**  
発煙、発火、感電の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しない。**  
事故、火災、感電の原因となることがあります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。**  
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



## 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は運転中に、CDの交換をしない。  
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ビニール袋をかぶらない。  
大きな事故や窒息死の原因となります。



## 注意

- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。  
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。  
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。  
けがの原因となることがあります。
- アンプ放熱部(背面部)に手を触れないでください。  
放熱部(背面部)の熱でやけどをする場合があります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。  
感電やけがの原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。  
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。  
火災の原因となることがあります。
- 本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。  
本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆(視力低下の原因)をもたらせたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。



## 注意

---

- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

# 目 次

<b>使用上のご注意 .....</b>	<b>8</b>
本機をお使いになるうえでのお願い .....	8
CD について .....	10
CD の清掃 .....	12
MD について .....	13
MD の清掃 .....	13
 <b>各部の名称 .....</b>	 <b>14</b>
 <b>基本操作 .....</b>	 <b>15</b>
電源を入れる / 切る .....	15
CD を聞く .....	16
MD を聞く .....	17
ラジオを聞く .....	17
音量を調節する .....	18
瞬時に消音する .....	18
オーディオコントロールモードを切り換える .....	19
VOL (VOLUME) モード .....	19
BASS モード .....	19
MID (MIDDLE) モード .....	19
TREB (TREBLE) モード .....	19
BAL (BALANCE) モード .....	20
FAD (FADER) モード .....	20
LOUD (LOUDNESS) モード .....	20
SVC (Source Volume Control) モード .....	21
イコライザープリセットメモリー .....	21
ファンクションモードでの設定 .....	22
イコライザの設定 (EQ) .....	23
コントラスト調整 .....	24
ガイドトーン ON/OFF .....	25
時刻の調整 .....	26
 <b>CD 部 / MD 部の操作 .....</b>	 <b>27</b>
CD/MD を聞く .....	27
次の曲に進む / 曲の頭に戻る .....	28
早送り・早戻しする .....	28
曲の始まりを演奏する (SCAN スキャン) .....	29
繰り返し演奏する (REPEAT リピート) .....	29
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM ランダム) .....	29
MDLP モードでグループ編集された MD の操作 .....	30
次のグループに進む / 前のグループに戻る .....	30
曲の始まりを演奏する (グループ SCAN) .....	30
繰り返し演奏する (グループ REPEAT) .....	31

曲の順番を変えて演奏する (グループ RANDOM) .....	31
CD TEXT、MD 演奏時の表示を切り換える .....	32
ディスクを取り出す .....	33
<b>ラジオ部の操作 .....</b>	<b>34</b>
ラジオを聞く .....	34
自動的に放送局を記憶させる .....	35
手動で放送局を記憶させる .....	36
放送局名を表示する (放送局のエリア設定) .....	37
<b>困ったときは.....</b>	<b>39</b>
インフォメーションが点滅する .....	40
<b>仕様について.....</b>	<b>45</b>
<b>アフターサービスについて.....</b>	<b>47</b>
<商品に関するお問い合わせ先>アフターサービスについて .....	48

# MEMO

# 使用上のご注意



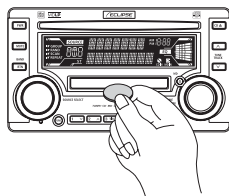
走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

## 本機をお使いになるうえでのお願い

- ・安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。



- ・本機は左のマークのついた CD のご使用をお勧めします。
- ・本機は音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-Rewritable)の再生が可能です。必ずファイナライズ処理したものをご使用ください。ただし、編集された機器により、再生できない場合があります。
- ・MP3/WMA ファイル形式の CD-R/RW は再生できません。
- ・Dual Discには対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- ・本機はMDLP(LP2モード/LP4モード)に対応しています。



- ・ディスク挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。

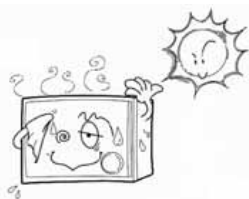




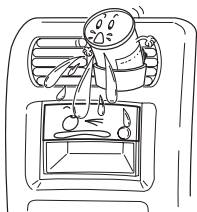
- ・ 悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる(音とび)ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。



- ・ 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。(結露現象)この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



- ・ 夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げってから本機をお使いください。



- ・ 湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



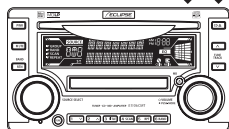
- ・ 本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



- ・ 本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

## CDについて

記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザ光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



- ・ ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。  
ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



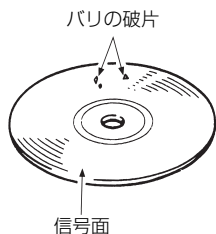
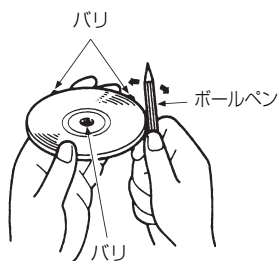
- ・ 信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけたりしないようにしてください。



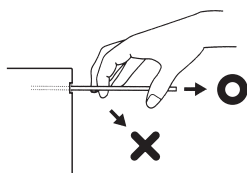
- ・ CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



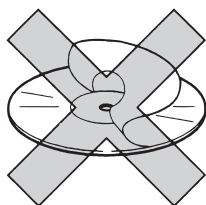
- ・ ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・ 信号面に触れないように取り扱ってください。



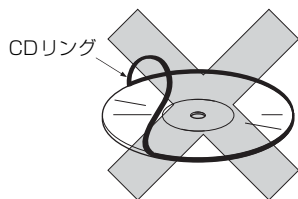
- ・新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部にバリがあることがあります。バリがついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。  
バリがついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中にバリの破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。



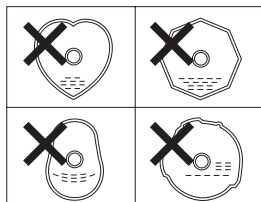
- ・本機から CD を取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面にキズをつける原因となります。



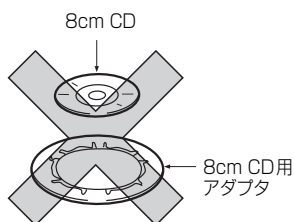
- ・音質向上や CD 保護用として市販されているアクセサリー (スタビライザー、保護シールなど)、またCDラベルなどは使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- ・音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー (CDリング、プロテクター) は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



- ・ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

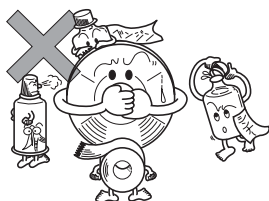


- ・本機では、8cmCD をアダプタなしで再生できません。
- ・8cmCD にシングルアダプタを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

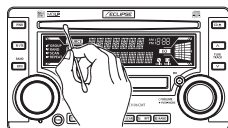
## CDの清掃



- ・ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



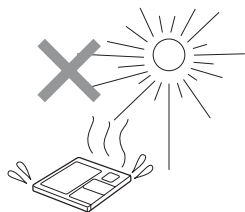
- ・ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



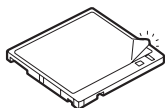
- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

## MDについて

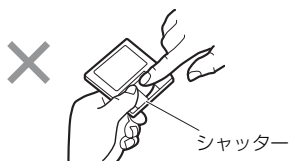
いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



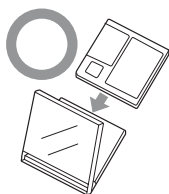
- ・ MD は直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。MDが反り、使用できなくなる恐れがあります。



- ・ ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



- ・ MDのシャッターは、手で開けないでください。



- ・ MDは、ケースに入れて保管してください。

## MDの清掃



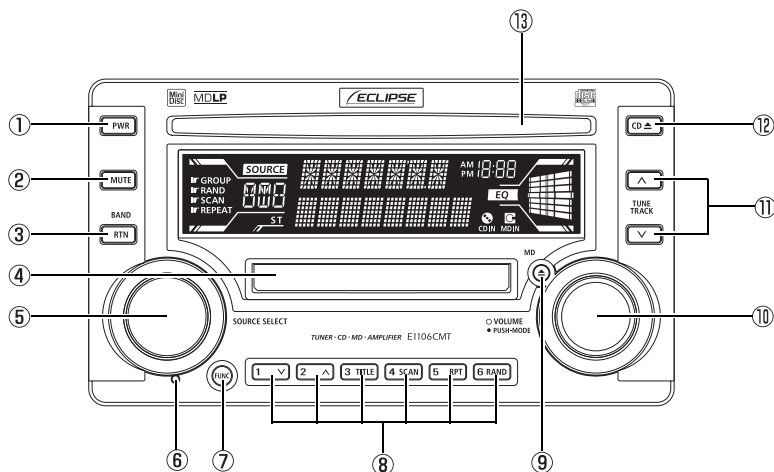
- ・ ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。
- ・ MD のカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。

- ・ ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

## 各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。詳細は、各操作の説明を参照してください。  
(CD部/MD部の操作 27ページ、ラジオ部の操作 34ページ)

### 本機正面

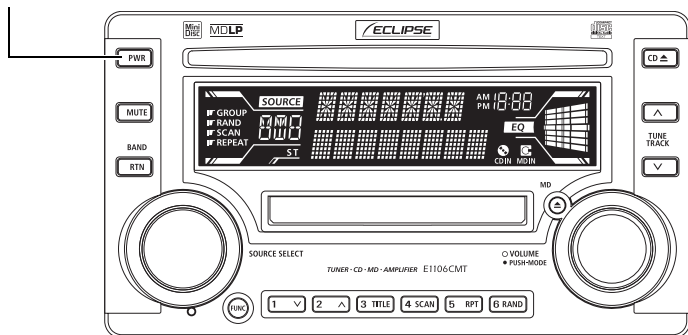


①	PWR ボタン	電源のON/OFFを行います。
②	MUTE ボタン	消音または消音の解除を行います。
③	RTN ボタン	各設定モードに戻るときやラジオのバンドを切り換えるときに使います。
④	MD 挿入口	MD を挿入します。
⑤	SOURCE SELECT ボタン	オーディオソースの切り換えを行います。
⑥	リセットボタン	記憶させた内容をすべて消去するときに使います。
⑦	FUNC ボタン	ファンクションモードへの切り換えを行います。
⑧	番号ボタン	ラジオのプリセットチャンネルの選択やディスクモードでの操作を行います。
⑨	MD ▲ (MD イジェクト) ボタン	MD を取り出すときに押します。
⑩	オーディオコントロールボタン	ボリュームの調整やオーディオコントロールモードの切り換えを行います。
⑪	TUNE TRACK ▲ / TUNE TRACK ▼ ボタン	ラジオの放送局の選択やCD, MD の早送り・早戻しを行います。
⑫	CD ▲ (CD イジェクト) ボタン	CD を取り出す時に押します。
⑬	CD 挿入口	CD を挿入します。

## 基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

[PWR]ボタン



## 電源を入れる/切る

以下の手順で電源を入れたり (ON)、切ったり (OFF) します。  
ACC ポジションのない車両の場合、電源を切る際注意が必要です。  
電源を切るときは、手順2、または手順3にしたがって操作してください。

### 1 電源がOFFの状態で [PWR] ボタンを押す

電源がONになります。

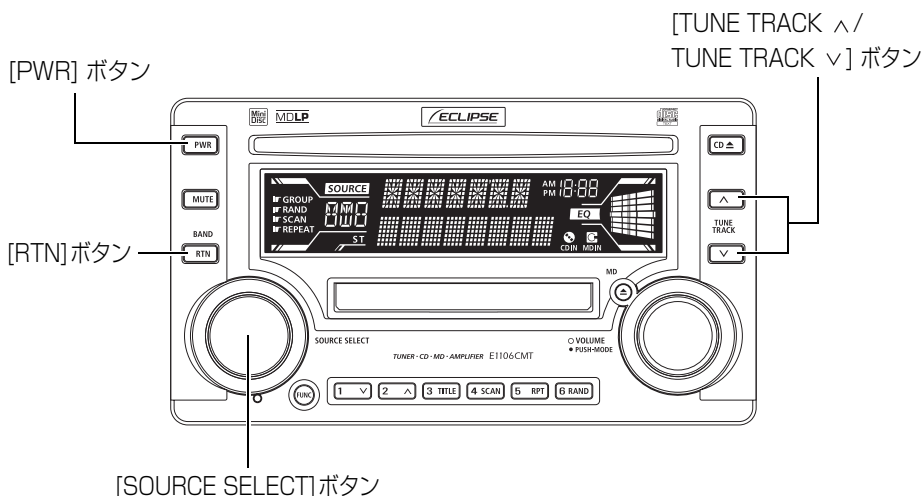


ワンポイント

本機の電源を初めてONにした時、または車両の整備などでバッテリーとの接続が外されて、再度電源をONにした時は、FM1 モードで電源がONになります。その後、放送局が自動で選局されて、番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。

### 2 電源がONの状態で [PWR] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

電源がOFFになり、スタンバイ状態となります。  
さらに [PWR] ボタンを長めに (2 秒以上) 押すと、電源がALL OFFになります。



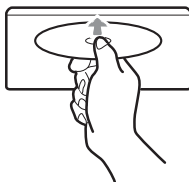
- 3** 電源がONの状態です[PWR] ボタンを長めに(2秒以上)押す  
電源がALL OFFになります。



欧州車などACCポジションのない車両の場合、降車の際は必ず[PWR] ボタンを長めに(2秒以上)押して電源をOFFにしてください。  
バッテリーが上がる恐れがあります。

## CDを聞く

- 1** CD挿入口にレーベル面を上にしてCDを挿入する  
CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



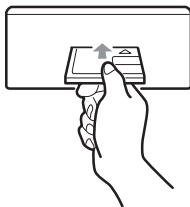
すでに CD が挿入されているときは、CD プレーヤーモードになるまで [SOURCE SELECT] ボタンを押してください。



## MDを聞く

### 1 MD挿入口にMDを挿入する

MDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



ワンポイント

すでに MD が挿入されているときは、MD プレーヤーモードになるまで [SOURCE SELECT] ボタンを押してください。



注意

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



## ラジオを聞く

### 1 [SOURCE SELECT] ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

### 2 [RTN] ボタンを押して、FM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1 → FM2 → AM1 → AM2の順に切り換わります。

### 3 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す

任意の周波数にあわせます。

[TUNE TRACK ▲] ボタン……周波数の高いほうへ移る

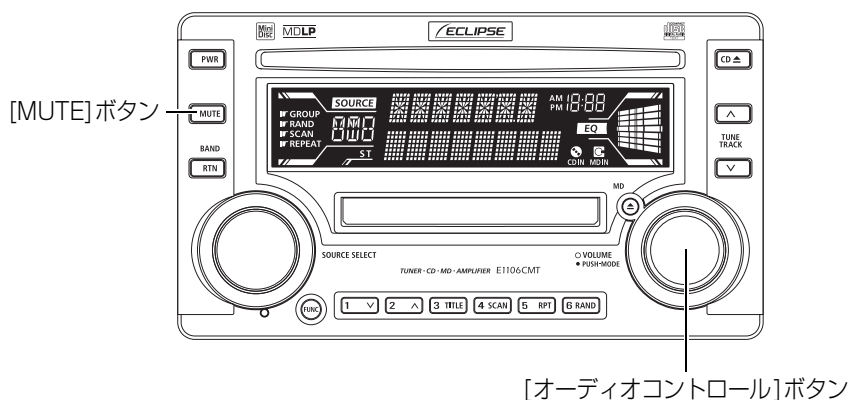
[TUNE TRACK ▼] ボタン……周波数の低いほうへ移る

### 4 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを長めに (2秒以上) 押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[TUNE TRACK ▲] ボタン……周波数の高いほうへ選局

[TUNE TRACK ▼] ボタン……周波数の低いほうへ選局



## 音量を調節する

### 1 [オーディオコントロール] ボタンを回す

右に回す ..... 音量が大きくなる  
 左に回す ..... 音量が小さくなる

### 瞬時に消音する

#### 1 [MUTE] ボタンを押す

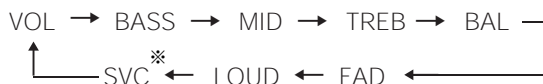
消音を解除するには、もう一度[MUTE] ボタンを押すか、  
 [オーディオコントロール] ボタンを右に回します。

## オーディオコントロールモードを切り換える

各モードの微調整をすることができます。

### 1 [オーディオコントロール] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



※ FMモード時は設定することはできません。

### VOL(VOLUME) モード

VOL(音量)を調整します。

[オーディオコントロール] ボタンを

右に回す …… 音量が大きくなる

左に回す …… 音量が小さくなる

### BASSモード

BASS(低音)を調整します。

[オーディオコントロール] ボタンを

右に回す …… 低音を強調する

左に回す …… 低音を弱める

### MID (MIDDLE) モード

MIDDLE (中音) を調整します。

[オーディオコントロール] ボタンを回す

右に回す …… 中音を強調する

左に回す …… 中音を弱める

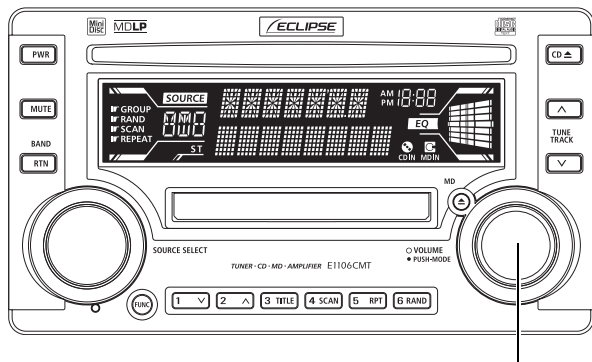
### TREB(TREBLE) モード

TREB(高音)を調整します。

[オーディオコントロール] ボタンを

右に回す …… 高音を強調する

左に回す …… 高音を弱める



[オーディオコントロール]ボタン

### BAL(BALANCE) モード

左右(BALANCE)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す …… 右のスピーカーを強調する

左に回す …… 左のスピーカーを強調する

### FAD(FADER) モード

前後(FADER)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す …… 前のスピーカーを強調する

左に回す …… 後ろのスピーカーを強調する

### LOUD(LOUDNESS) モード

一定のレベルで低、高音を強調します。小さな音量でLOUDネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

[オーディオコントロール]ボタンを回すごとに、ON/OFFが切り換わります。

## SVC (Source Volume Control) モード

オーディオモードごとに音量の差を設定することができます。初期状態のFMモードの音量(初期値:40)を基準に、各オーディオモードで設定したボリューム差が記憶されます。SVCを設定すると下記の設定例のようにボリュームレベルが変化します。

設定例：

オーディオモード	FM	AM	CD	MD
初期値 (ボリュームレベル)	0 (40)	0 (40)	0 (40)	0 (40)
SVC設定 (ボリュームレベル)	基準 (40)	SVC設定値 +15 (55)	SVC設定値 -10 (30)	SVC設定値 +10 (50)
FMモードでボリューム レベルを40→45に調整 したとき	45	55→60	30→35	50→55
CDモードでボリューム レベルを35→60に調整 したとき	45→70	60→80*	60	55→80
AMモードでボリューム レベルを80→20に調整 したとき	70→5	20	60→0*	80→15

\*: ボリュームレベルは最大で80、最小で0です。最大・最小値を超える場合は、それ以上、以下には、ボリュームレベルは変化しません。

[オーディオコントロール] ボタンを

右に回す …… SVC 設定値が大きくなる

左に回す …… SVC 設定値が小さくなる

SVC 設定値は-10から+20の範囲で設定してください。



ワンポイント

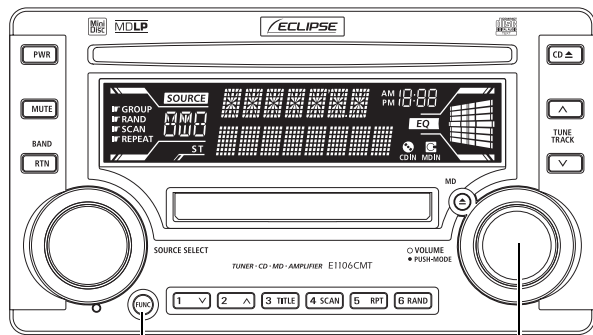
車両の整備などにより、バッテリーとの接続が断たれた時は、SVCの設定は初期状態に戻ります。この場合、再度設定をしてください。

## イコライザユーザープリセットメモリー

オーディオコントロールモードで設定した BASS・MIDDLE・TREBLEの調整値を記憶することができます。記憶された調整値は、イコライザモードを切り換えて呼び出すことができます。詳細は、「イコライザの設定(EQ)」(23ページ)を参照してください。

### 1 [オーディオコントロール] ボタンを長めに (2秒以上) 押す

調整した値が記憶されます。



[FUNC] ボタン

[オーディオコントロール] ボタン

## ファンクションモードでの設定

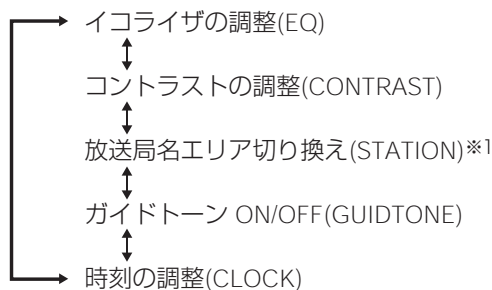
さまざまな設定を変更することができます。

### 1 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。

### 2 [オーディオコントロール] ボタンを回して、設定項目を選択する

[オーディオコントロール] ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



※1 ラジオ操作時以外は設定できません。(詳細はラジオ部の操作37ページを参照してください。)

## イコライザの設定 (EQ)

EQ (イコライザ) は、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整して、好みに合わせた音質で音楽を楽しむことができます。本機では、3種類のイコライザモードのほかに、オーディオコントロールモードで設定したBASS・MIDDLE・TREBLEの調整値を記憶して、CUSTOMモードとして呼び出すことができます。

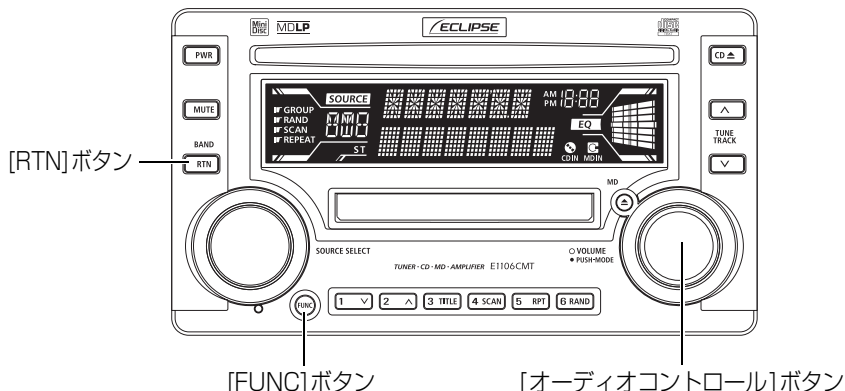
- 1** [オーディオコントロール] ボタンを回して、「EQ」を選択する
- 2** [オーディオコントロール] ボタンを押す  
イコライザ設定モードに切り換わります。
- 3** [オーディオコントロール] ボタンを回す  
ボタンを回すごとに、イコライザモードが次の順に切り換わります。



- 4** [オーディオコントロール] ボタンを押す※2  
調整内容が反映されます。
- 5** [RTN] ボタンを押す  
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す  
ファンクションモードが解除されます。  
(**5**の時に[FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※1: CUSTOMモードは、「イコライザユーザープリセットメモリー」(21ページ) で調整した値が呼び出されます。

※2: [オーディオコントロール] ボタンを押さずに[FUNC] ボタン、または[RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、調整内容は反映されません。



## コントラスト調整

表示部を見る角度にあわせて、表示部のコントラストを見易く調整できる機能です。

- 1** [オーディオコントロール] ボタンを回して、**「CONTRAST」** を選択する
- 2** [オーディオコントロール] ボタンを押す  
コントラスト調整モードに切り換わります。
- 3** [オーディオコントロール] ボタンを回して、調整する  
-5～+5のレベルで設定することができます。  
右に回す……… レベルが大きくなる  
左に回す……… レベルが小さくなる
- 4** [オーディオコントロール] ボタンを押す※<sup>1</sup>  
調整内容が反映されます。
- 5** [RTN] ボタンを押す  
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す  
ファンクションモードが解除されます。  
(**5**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※ 1: [オーディオコントロール] ボタンを押さずに[FUNC]ボタン、または[RTN]ボタンでファンクションモードを解除した場合は、調整内容は反映されません。

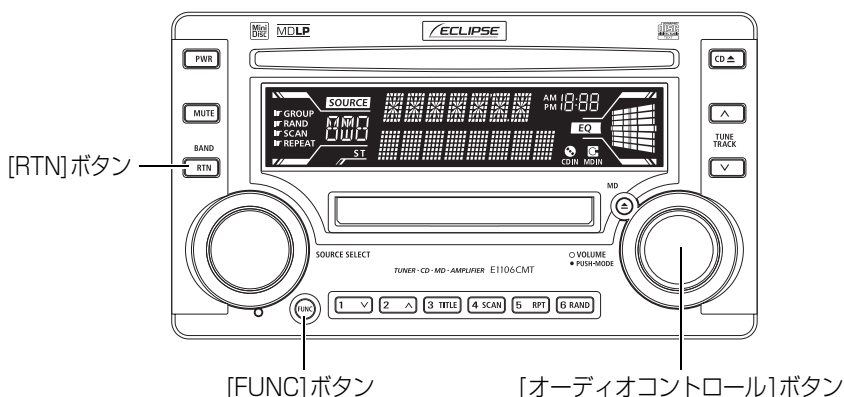


## ガイドトーン ON/OFF

ガイドトーンのON/OFFを切り換えることができます。  
お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンが鳴るように設定されています。

- 1** [オーディオコントロール] ボタンを回して、  
[GUIDTONE] を選択する
- 2** [オーディオコントロール] ボタンを押す  
ガイドトーン設定モードに切り換わります。
- 3** [オーディオコントロール] ボタンを回して、ON/OFFを切り換える
- 4** [オーディオコントロール] ボタンを押す※1  
調整内容が反映されます。
- 5** [RTN] ボタンを押す  
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンを押す  
ファンクションモードが解除されます。  
(**5**の時に[FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※1: [オーディオコントロール] ボタンを押さずに[FUNC] ボタン、または[RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、調整内容は反映されません。



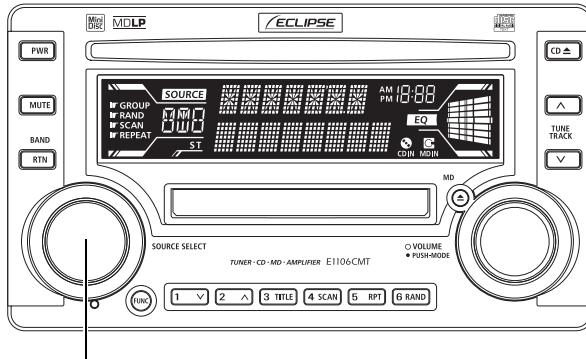
## 時刻の調整

本機は、12時間表示になっています。

- 1 [オーディオコントロール] ボタンを回して、「CLOCK」を選択する
- 2 [オーディオコントロール] ボタンを押す  
時刻調整モードに切り換わります。
- 3 [オーディオコントロール] ボタンを押して、調整する項目を選択する  
ボタンを押すたびに、時、分が切り換わります。
- 4 [オーディオコントロール] ボタンを回して、調整する  
右に回す……… 選択されている時間または分が増える  
左に回す……… 選択されている時間または分が減る
- 5 [RTN] ボタンを押す  
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンを押す  
ファンクションモードが解除されます。  
(5の時に[FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

## CD 部 / MD 部の操作

ここでの操作は、すでにCDやMDが挿入されていることを前提に説明します。  
特に指定がない場合、操作はCD、MDで共通しています。



[SOURCE SELECT] ボタン

## CD/MDを聞く

### 1 [SOURCE SELECT] ボタンを押して、CDモードまたはMDモードに切り換える

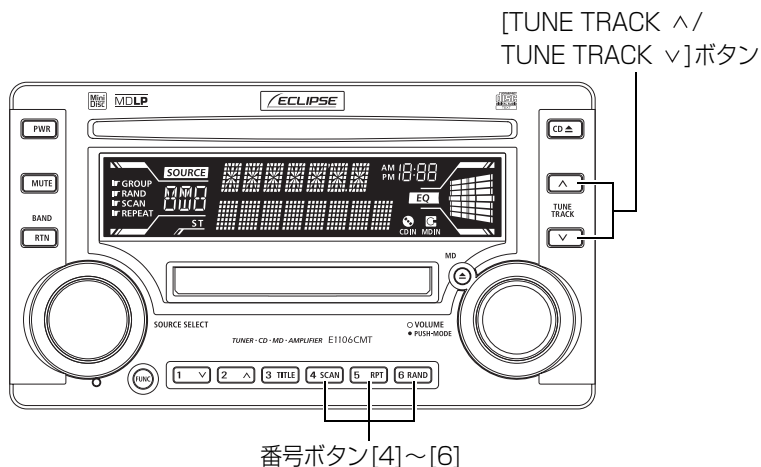
オーディオソースが切り換わり、演奏が始まります。  
[SOURCE SELECT] ボタンを押すごとに、ラジオ → CD プレーヤー (CDP) → MD プレーヤー (MDP) の順に切り換わりま  
す。

ディスクが挿入されていないモードは、飛ばして切り換わりま  
す。



注意

CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。



## 次の曲に進む / 曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

### 1 [TUNE TRACK ▲ / TUNE TRACK ▼] ボタンを押す

[TUNE TRACK ▲] ボタン…… 次の曲に進む

[TUNE TRACK ▼] ボタン…… 演奏中の曲の頭 (繰り返し押すと前の曲) に戻る

## 早送り・早戻しする

### 1 [TUNE TRACK ▲ / TUNE TRACK ▼] ボタンを押しつづける

[TUNE TRACK ▲] ボタン…… 早送りする

[TUNE TRACK ▼] ボタン…… 早戻しする

スキャン

## 曲の始まりを演奏する (SCAN)

### 1 番号ボタン[4]を短く（1秒未満）押す

演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。  
再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

リピート

## 繰り返し演奏する (REPEAT)

### 1 番号ボタン[5]を短く（1秒未満）押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。  
再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。

ランダム

## 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

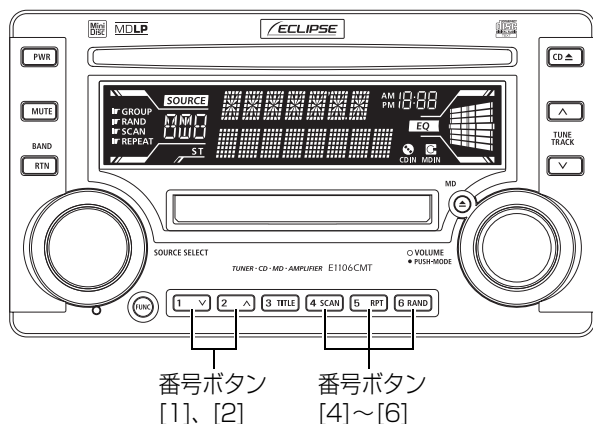
### 1 番号ボタン[6]を短く（1秒未満）押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。  
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- 「RANDOM」を選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、「RANDOM」に戻ります。  
繰り返し再生される曲は下記になります。
  - ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
  - ・ 次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「REPEAT」、「RAND」などの文字が点灯して表示され、使用中の機能を確認することができます。



## MDLPモードでグループ編集されたMDの操作

MDLPモードのグループ編集機能で、グループに分けて録音されたMDの場合、次のような操作をすることができます。(ただし、編集・録音された機器によって、動作しないことがあります。)

### 次のグループに進む/前のグループに戻る

#### 1 番号ボタン[1]または[2]を押す

番号ボタン[1] …… 前のグループに戻る

番号ボタン[2] …… 次のグループに進む

### 曲の始まりを演奏する(グループSCAN)

#### 1 番号ボタン[4(SCAN)]を長めに(2秒以上)押す

「GROUP」と「SCAN」が点灯して、MD内の全グループの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

## 繰り返し演奏する (グループ REPEAT)

- 1 番号ボタン [5 (REPEAT)] を長めに (2 秒以上) 押す  
「GROUP」と「REPEAT」が点灯して、演奏中のグループ内の曲を繰り返し再生します。

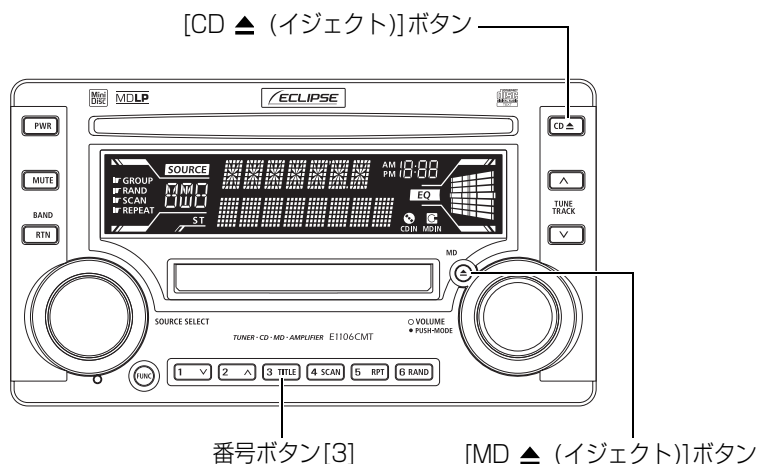
## 曲の順番を変えて演奏する (グループ RANDOM)

- 1 番号ボタン [6 (RANDOM)] を長めに (2 秒以上) 押す  
「GROUP」と「RAND」が点灯して、演奏中のグループ内の曲を順不同に演奏します。



ワンポイント

- 「曲の順番を変えて演奏する (グループ RANDOM)」を選択中に、[TUNE TRACK ^ / TUNE TRACK v] ボタンを操作して演奏中のグループから他のグループに移動した場合、「曲の順番を変えて演奏する (グループ RANDOM)」は解除されます。
- まれに同じ曲が続けて演奏 (選択) されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「GROUP」と「SCAN」、「REPEAT」、「RAND」などの文字が同時に点灯して表示され、使用中の機能を確認することができます。



## CD TEXT、MD演奏時の表示を切り換える

CD TEXT、MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大8文字まで表示されます。

ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合、NO TITLEと表示されます。

### 1 番号ボタン[3]を押す

ボタンを押すごとにタイトルがスクロール表示されます。



注意

- 本機の表示部にCD TEXT、MDのタイトルまたはトラックタイトルが表示されないときは、この機能はご使用になれません。
- 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されない場合があります。
- ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。
- 本機で表示することができる文字は、次のようになります。  
 CD TEXT……半角英数字、記号  
 MD ……………半角英数字、半角カナ、記号  
 上記以外の文字は\*（アスタリスク）で表示されます。



## ディスクを取り出す

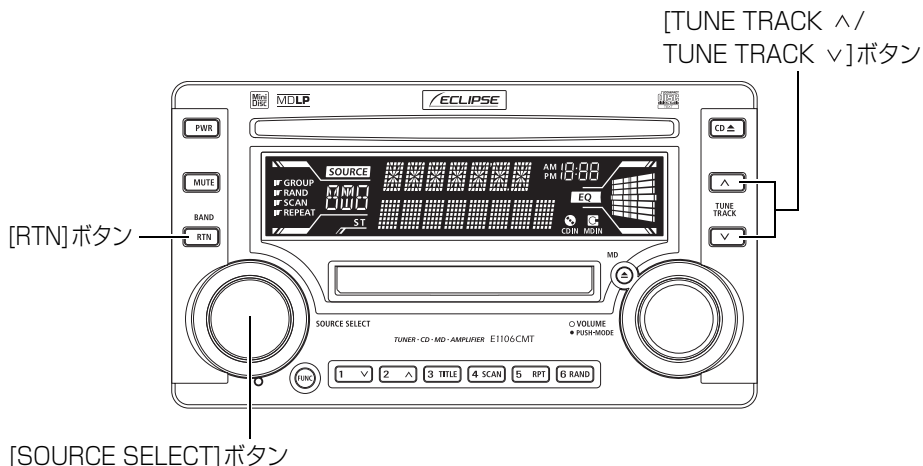
- 1 [CD▲(イジェクト)]、または [MD▲(イジェクト)] ボタンを押す  
挿入されていたディスクが排出されます。

[CD▲(イジェクト)] ボタン …… CD が排出される

[MD▲(イジェクト)] ボタン …… MD が排出される

## ラジオ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶することができます。  
AM1、2に各6局、FM1、2に各6局の合計24局を記憶することができます。



## ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタンを押すと記憶させた放送局を受信することができます。

### 1 [SOURCE SELECT] ボタンを押す

オーディオソースが切り換わり、ラジオを受信します。

[SOURCE SELECT] ボタンを押すごとに、ラジオ → CD プレーヤー (CDP) → MD プレーヤー (MDP) の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていないモードは、飛ばして切り換わります。

### 2 [RTN] ボタンを押して、FM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1 → FM2 → AM1 → AM2の順に切り換わります。

**3 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す**

任意の周波数に合わせます。

[TUNE TRACK ▲] ボタン……周波数の高いほうへ移る

[TUNE TEACK ▼] ボタン……周波数の低いほうへ移る

**4 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを長めに (1 秒以上) 押す**

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[TUNE TRACK ▲] ボタン……周波数の高いほうへ選局

[TUNE TEACK ▼] ボタン……周波数の低いほうへ選局

## 自動的に放送局を記憶させる

[SOURCE SELECT] ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

**1 [SOURCE SELECT] ボタンを長めに (2秒以上) 押す**

「ASM ON」とスクロール表示された後、点滅表示され、受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

動作終了後は、「ASM ON」の表示が消え、最後に記憶された放送局を受信し続けます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



ワンポイント

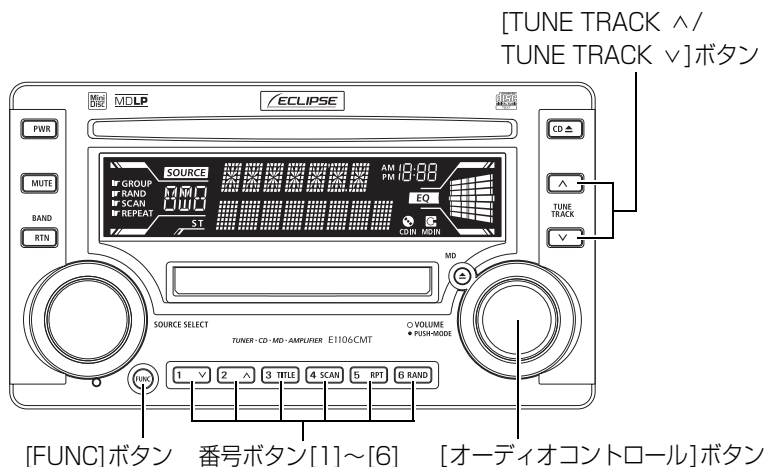
●ASMとは、オートステーションメモリーの略です。

●受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンは変更されません。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたとき、または、[リセット]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



## 手動で放送局を記憶させる

[SOURCE SELECT] ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

**1** [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、記憶させる周波数に合わせる

**2** 任意の番号ボタン[1～[6]を長めに(2秒以上)押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶され、表示部に周波数が表示されます。

このボタンをプリセットボタンと呼びます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断れたとき、または、[リセット]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

## 放送局名を表示する(放送局のエリア設定)

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。  
表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



ワンポイント

選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。



注意

エリアを選択しても、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

### 1 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。

### 2 [オーディオコントロール] ボタンを回して、「STATION」を選択する

### 3 [オーディオコントロール] ボタンを押す

放送局名表示モードに切り換わります。

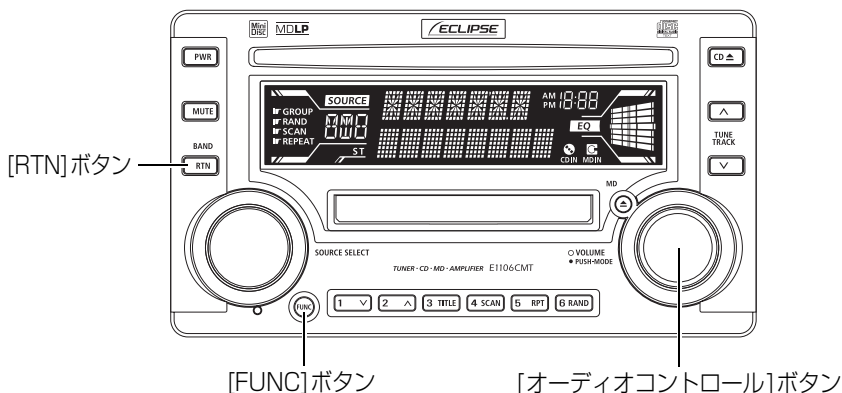
### 4 [オーディオコントロール] ボタンを回して、使用するエリアを選択する

ボタンを回すごとに、次の順に切り換わります。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セツテイナシ	

### 5 [オーディオコントロール] ボタンを押す※1

設定内容が反映されます。



## 6 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

## 7 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(6の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されます。)

※ 1: [オーディオコントロール]ボタンを押さずに[FUNC]ボタン、または[RTN]ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



注意

以下の点にご注意ください。

- 500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- 設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- 同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。  
IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- 放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(8文字まで表示します。)
- 本機の放送局名データは、平成17年1月1日現在のものです。

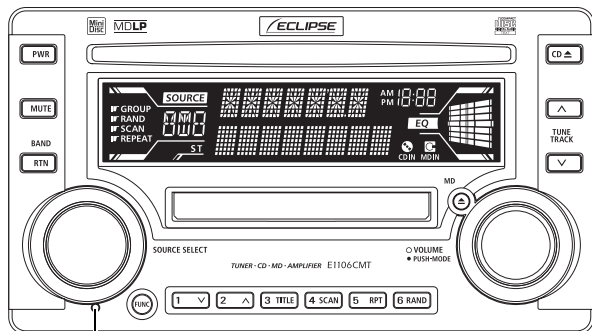
## 困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。



注意

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったもので[リセット]ボタンを押してください。



[リセット]ボタン

[リセット]ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

## インフォメーションが点滅する

インフォメーション(「INFO No.」)が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

表示内容	インフォメーション	対処
INFO 3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
INFO 4※	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
INFO 5	メカトラブル	イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 6	内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 7	内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 8※	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

※この内容は、MDのみ適用されます。



	症状	原因	処置	参照 ページ
共通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	18
		ミュート(MUTE)が働いていませんか。	ミュート(MUTE)を解除してください。	18
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	20
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	35
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	25

	症状	原因	処置	参照 ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納された状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	—
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	—
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	36
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	36
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。 常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照 ページ
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れても すぐ排出される。 または、ディスクが 排出されない。	ディスクにラベルや シールなどを貼り付 けていませんか。	ディスクにはラベル やシールなどを貼り 付けないでください。	11
		ディスクにバリや変 形、破損箇所はあり ませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 バリのあるディスク は、バリを取り去っ てご使用ください。 変形や破損したディ スクはご使用になら ないでください。	11
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚 れはありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 キズのあるディスク は、ご使用にならな いでください。	10
		取付け角度は適正で すか。 取付けにガタはあり ませんか。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	—
		悪路を走行されてい ませんか。	悪路を走行中の使用 は、できる限り避け てください。	9
		その他、ディスクに 記録されている音楽 ソースの音質やトラ ブルなどが考えられ ます。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照 ページ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐ に排出される。	ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	17
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。	13
		ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	—
		無録音のディスクを使用していますか。	録音済みのディスクをご使用ください。	—
	ディスクが排出できない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	—
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。 排出できない場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	13
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。 取付け角度は適正ですか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	—
		取付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		悪路を走行されていますか。	悪路を走行中の使用は、できる限り避けてください。	9
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース(CD、MDなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

# 仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

## CD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	94dB
S/N比	96dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

## MD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	94dB
S/N比	96dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

## ラジオ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	12dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz～15kHz
ステレオセパレーション	38dB

## ラジオ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	22 $\mu$ V(S/N 20dB)

**共通部**

調整周波数	Bass	100Hz ± 12dB
	MID	1kHz ± 12dB
	TREBLE	10kHz ± 12dB
ラウドネス	・ 100Hz :	+ 10dB
	・ 10kHz :	+ 6dB
最大出力	40W × 4	
適合負荷インピーダンス	AMPOUT 4Ω(各チャンネル)	
電源電圧	DC13.2V(11～16V)、⊖アース専用	
消費電流	0.5W × 4出力時 約2A、最大約12A	
寸 法	178mm(幅) × 100mm(高さ) × 163.5mm(奥行)	
重 量	本体約1.9kg	
保存温度範囲	－40℃～＋85℃	
動作温度範囲	－20℃～＋65℃	

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

## アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。

保証書は販売店でお受け取りの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「困ったときは」(39ページ)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。

◆ 修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。

◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。

※ 修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

◆ 保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。

4. 出張による修理、点検は行っておりません。

5. この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

## ＜商品に関するお問い合わせ先＞アフターサービスについて

＜商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ＞  
※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

### 【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前 10:00～12:00 午後 1:00～5:00  
(土・日・祝日などを除く)

＜商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ＞

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北営業所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 (タカノボル第22ビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0034 高松市内町1番13号（日新内町ビル）	(087)822-1411	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	九州全域、沖縄



# MEMO

# MEMO

## 富士通テン株式会社

本社/〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1-2-28  
TEL. (078) 671-5081

[www.fujitsu-ten.co.jp](http://www.fujitsu-ten.co.jp)